

ガソリンと軽油の危険性

ガソリンは気温が - 40 度でも気化し、小さな火源でも爆発的に燃焼する物質です。(軽油は + 40 度)

ガソリンの蒸気は、空気より重いため、穴やくぼみなどに溜まりやすく、離れたところにある思わぬ火源(ライターなどの裸火、静電気、衝撃の火花など)によって引火する危険性があります。

ガソリンや軽油は、大量に保管すると火災危険性が高まるとともに、一旦火災が発生すると大火災になる危険性があります。

ガソリンや軽油を入れる容器

ガソリンや軽油を入れる容器は、消防法令により、一定の強度を有するとともに、材質により容量が制限されています。

特に灯油用ポリ容器にガソリンを入れることは禁止されております。非常に危険ですので絶対に行わないで下さい。

